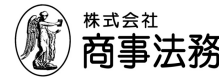


〔ビジネス・ロー・スクール教養講座〕  
歴史社会学の視点で「世界を見る眼」を養うⅡ  
～パレスチナ／イスラエルはなぜ難問か～

セミナー番号:11240115



—現在の中東情勢について、米国子会社のユダヤ人とアラブ人の仲間とどのように会話をしたらいいのでしょうか？呼び方すら難しく、ウクライナ戦争のときのように、一方の側に立てばいい訳にもいかない中東情勢。本講座では我々が一番苦手かもしれないこの問題を深く知る機会を提供。

主要講義項目

I オスロ合意以前——諸問題の起源と累積

- 1 ヨーロッパでのユダヤ人迫害と住民交換史の開始
  - (1) ロシア東欧地域での差別と暴力
  - (2) ホロコーストとナクバ
- 2 ナショナリズムと国際政治の再編
  - (1) 諸帝国の崩壊と帝国主義・植民地主義の変形
  - (2) ネーションという単位
- 3 紛争の累積と世代交代
  - (1) 対立と抑圧の累積
  - (2) 移民と世代交代

II オスロ合意以降

——現代における変容と袋小路

- 1 オスロ合意——良くも悪くも一つの到達点
  - (1) 誰と誰が合意したのか
  - (2) 誰と誰が合意しなかったのか
- 2 宗教の再編と伸張
  - (1) ユダヤ教の変容
  - (2) イスラームとナショナリズムの結合
- 3 「国土安全保障」という思想と実践
  - (1) マクロな分断
  - (2) ミクロな分断

(講義時間：約2時間30分 [講義+質疑応答])

●講師紹介●

鶴見太郎 (つるみ たろう) 東京大学大学院総合文化研究科准教授



東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻相関社会科学分野博士課程修了、博士(学術)。エルサレム・ヘブライ大学(日本学術振興会特別研究員として)、ニューヨーク大学(同海外特別研究員として)などにて研究。2016年より現職。著書に、第12回日本社会学会奨励賞を受賞した『ロシア・シオニズムの想像力』(2012年、東京大学出版会)、『イスラエルの起源』(2020年、講談社)など。日本学術振興会賞、日本学士院奨励賞を受賞。

[本講座のモデレーター] 明司雅宏 (あかし まさひろ) サントリーホールディングス株式会社 リスクマネジメント本部副本部長 兼 法務部長

開催日程・開催場所・申込期限

◇本講は会場開催セミナーです◇

- 開催日程：2024年1月15日(月)10時～12時30分
- 開催場所：株式会社商事法務 会議室(東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階)
- 定員：40名(先着順) ● 申込期限：2024年1月12日(金)
- 受講料(1名分)：一般の方9,900円(税込)、経営法友会会員企業にご所属の方4,950円(税込)

※お申込み方法等は、裏面をご覧ください。

## 講座開設の趣旨

### <講座開設のねらい> (ビジネス・ロー・スクール事務局より)

本講座では、東京大学大学院総合文化研究科の鶴見太郎先生を講師としてお迎えし、グローバルに展開する企業の法務・リスクマネジメントのご担当者を含め、経済社会で活躍するあらゆる方々に向けて、歴史社会学の視点から「世界を読み解く視座」を提供していただきます。

### <受講のススメ> (モデレーターより)

現在の中東情勢はそもそも呼び方すら難しい問題です。また、ウクライナ戦争のときのように、一方の側に立ってばいい訳にもいきません。例えば米国子会社のユダヤ人とアラブ人の仲間とどのように会話をしたらいいのでしょうか？本講座は我々が一番苦手かもしれないこの問題を深く知るいい機会です。

### <講義内容> (講師より)

- ◆2023年10月7日にハマースの越境攻撃で多数のイスラエル市民が犠牲になると、イスラエル軍は街全体を焼き尽くすような攻撃をガザ全域に仕掛け、多くの市民の死傷者が出続けています。この地域の紛争が突然発生したわけではないことはよく知られている一方で、何が原因で何が正義であるのか、歴史をどこまでさかのぼって考えるべきか、にわかに判断できない戸惑いを感じる向きも少なくないでしょう。
- ◆この講座では、この紛争について踏まえるべき主要なポイントを解説したうえで、ある程度明確に言えることと、判断に迷いが生じることをできるだけ分けしながら、この問題を長期観点から捉え、原点とすべき人権を確保するために必要な重層的な視座を考えていきます。その際、人権と民族自決権の相克や、記憶の持続性に特に注目しながら、「ユダヤ人対アラブ人」「イスラエル対パレスチナ」のように単純に捉えるのではなく、むしろそれぞれの、あるいはそれを超えた多層性のダイナミズムによって動く局面を読み取ることを重視してお話したいと思います。

## お申込要領・ご注意事項

- 受講のお申込みは、弊社HPの各セミナー案内画面からWEB上にてお申し込みいただくか、下記申込書に必要事項をご記入のうえFAX・郵便にてご送付ください。お申込みの受付後、請求書を郵送いたします。
- 受講料は、ご送付する請求書に従って、お振込みください。なお、「振込手数料」等は、ご負担くださいますようお願いいたします。
- 講義資料等を別途郵送する旨をご案内しているセミナーについての講義資料等発送後は、キャンセルは一切お受けできません。ご送付する請求書に従ってお振込みください。
- ご記入の個人情報は、弊社の「個人情報保護方針」に従って適切に取り扱います。
- 反社会的勢力と判明した場合には、セミナーの受講をお断りいたします。
- 講義内容等または主催者の都合により、受講資格を制限させていただき、受講のお申込みをお受けできない場合がございます。
- 新型コロナウイルス、インフルエンザ等の市中感染状況や感染症蔓延防止のための政府方針、また天変地異の発生等の諸事情によりセミナーの開催・配信を中止・延期する場合がございます。
- 会場での録音・撮影、パソコン・携帯電話の使用はご遠慮願います。
- 発熱、ひどい咳等体調不良の兆候がある場合は、セミナーへのご出席をお控えください。なお、受付時等に前記のような兆候が認められる場合、ご退室をお願いする場合がございます。
- 申込先 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2 (日本橋フロント3階)  
株式会社商事法務ビジネス・ロー・スクール (URL: <https://www.shojihomu.co.jp/>)  
電話: 03 (6262) 6761 (ダイヤルイン) Eメール: [law-school@shojihomu.co.jp](mailto:law-school@shojihomu.co.jp)

本セミナーの  
QRコード →



----- 切り取らないでください -----

## <有料セミナー> 受講申込書

株式会社 商事法務 行

申込日: \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

FAX. 03-6262-6802

●お申込欄中、※印の部分は必須でご記入願います。

講座名:『歴史社会学の視点で『世界を見る眼』を養うⅡ』(受講料(税込):一般9,900円/経営法友会会員企業4,950円)

※社名	※住所	(〒 _____ )
※部署名:	所	
業種:	※TEL.	_____ - _____
備考: <input type="checkbox"/> 経営法友会会員 (会員会社の方は、 <input type="checkbox"/> に✓をお入れください。チェックのない場合は一般の方の価格を適用いたします)		
※受講者名	※受講者のEメールアドレス	社歴等(端数切上) 入社後 実務経験
		約 _____ 年 約 _____ 年
		今後のご案内の要否(注) 郵送希望 Eメール希望

(注)本「受講申込書」ご記入の連絡先に、今後のセミナー案内等をするを希望される方は、○で囲んでください。↑